

令和5年度 国分寺市社会教育委員の会議 第3回定例会

日 時：令和5年7月13日（木）午前10時～

会 場：ひかりプラザ 101号室

事務局：ただいまから国分寺市社会教育委員会第3回定例会を開催いたします。1番の「報告事項」ですが、7月11日開催の議長にご出席いただきました第1回の都市社連協理事会についての資料を添付しましたので、ご確認いただければと思います。議長から何か一言ございますか。

議長：報告事項の第1回都市社連協の理事会につきましては、私と事務局1名とで行きました。特に国分寺市の社会教育委員の会議に関わりそうな資料を皆さんに情報共有として送りました。今後いつ都市社連協の役員が回ってくるのかなどのスケジュールです。

2枚目の裏が、主な役員会の日程ですが、交流大会が12月9日に調布市文化会館たづくりで開催されます。来年度ですが、定期総会が4月20日にあります。ブロック研修会が毎年行われており、国分寺市は第2ブロックに当たりますが、今年、昭島市がブロック長で10月21日の土曜日に昭島市でブロックの研修会があります。今年度からはコロナも明け、ブロックを越えた参加も可能となりましたので、ほかのブロックの研修を希望する場合は、事務局を通して参加することができます。

事務局：次の2番の「協議事項」に移ります。「今後のリーフレットの周知及び活用について」ということで、資料2、3、4を配布しました。資料2は、アンケートに回答してもらった団体を確認して作成しています。資料3は、新型コロナウイルス感染対策下における公民館の役割についてということで、令和3年6月に公運審で答申が出た第3期の答申です。資料4は、令和3年9月30日に図書館運営協議会から出た答申で「新しい生活様式に対応した図書館サービスの在り方について」という資料を配布しました。

議長：それでは協議事項に入ります。前回の会議でリーフレットが完成しましたので、市内の各施設にリーフレットを配布していただいたかと思います。このリーフレットのものになった答申に基づいて、どのような活動をしていくか模索していく時期になったかと思っています。次のステップとして、何を私たちは取り組んでいこうかという話を今日はさせていただけたらと思っています。皆さん、どのように考えているか、まず教えていただければと思います。

副議長：この資料の2は、意味合いとしては、公民館、図書館に加えてどこに配っていくかというときに、アンケートに回答してくださった団体には配ったほうがいいのではないかと位置づけの資料でしょうか。

事務局：資料2につきましては、アンケートの回答の中から市民の方が参加している団体、そういう市民活動をされていると思われる会議をピックアップしたものです。

副議長：この回答団体にはもう配りましたか。

事務局：配りました。

副議長：関係団体には届いている状態なので、次にこれをどう使っていくかということが議論

の中心かと思います。この資料はどのような資料になりますか。

議長 : 事前に議長、副議長と事務局で打ち合わせしたときに、市民会議の主だった一覧を作成して、私たちがどうやって外と関わっていかうかという話したところから、アンケートに回答した団体が関わっている団体を抽出してまとめた形になるかと思います。今、国分寺市には各分野で様々な市民会議が行われていると思います。

委員A : いろいろな団体がチラシ、パンフレットを作っていますので、リーフレットを見るとどういう活動しているかというのが分かります。

自分で団体に参加してみて、初めてこういうところがあるというのを認識できるので、やはり団体の連合体のようなところに出ていくことが必要かと思います。

副議長 : 5つの提言があるので、いきなり全部進めていくとは難しい。そういう意味で、1というのが、まず各団体がいろいろやっていることを知るためにいいのではないか。委員が言ったように、そういう連合体のような場所に手分けして参加して、そこでやっている活動を知る中で、提言の2、3、4は把握できるかもしれません。

5は人なので、中核的な方々がいれば、その方々のつながりをどう作り、社会教育委員としてさらにつなぐことができるのかを考えていけば、1にも返ってくるのかと思います。

議長 : 今、副議長や委員が言われたように、提言に基づいたリーフレットを基に次のステップとしてどう進んでいくのかということでは、やはり知っていただくということが1つ、それからこのリーフレットに載っているこの5つの提言に向けて私たちがどう動いていくのか。社会教育委員として外に出ていくスタンスを持って取り組んでいきたいと考えていますが、ご意見を頂きながら、まとめていけたらなと思います。

国分寺市はいろいろなところで市民の方が活躍をされ、様々な団体があり、大きな市民会議的な会議も多く行われています。網羅するのは難しいとは思いますが、もう少し体系立てて整理していくのも必要かと思っています。

委員A : そうですね。私は子どもの分野ではいろいろ動きが見える。それぞれ皆さん持ち場が違うので、ご意見を出していただくと現状が少し見えるかもしれないですね。

議長 : その辺りいかかですか。

委員B : まず、社会教育委員になったとき、自ら積極的に市民会議を作るのではなく、あくまでも手助けする、あるいはヒントを出すのだということを思い出します。

まずリーフレットを知ってもらうのが一番だと思うのです。この「広がる 超える 届く」という活動をしていることを知ってもらうのが先だと思います。

その後手助けやヒント、アドバイスができたらいいのかなと思います。

議長 : まずこのリーフレットを知っていただくという努力がひとつ必要なのと、併せて各団体の活動を把握した上でつないでいくということでは、まだまだ見えていないので、これからどう活動していくかということが大切だと思います。

委員C : 社会教育委員が提案して、緩いつながりの場づくりもいいのかなと個人的には思っています。国分寺市内の団体の相互関係が分かるような資料があればいいですね。団体の抱えている課題とかニーズ、どういう場が欲しいのか、それを収集して、最終的に国分寺市はこうしたらいいといったものが、1年では難しいですができればいいと思

います。

議長 : いろいろな取組の種類と、年間計画みたいなものを作っていけたら、私たちも動きやすくなるのではないかとこのところですね。

委員D : 答申だけだとなかなか読んでもらえません。リーフレットを作るとのこと自体、社会教育委員の会議のすごいワンステップだと思うのです。例えば市報に、教育委員会はいつ開催するとありますが、社会教育委員の会議という組織があることをまず知っていただくことは大切だと思います。

議長 : 委員が言われたように、市報には各委員会の開催日が出ていたと思いますが、社会教育委員の会議は載っていないですね。社会教育委員の会議という存在を市報に掲載するということが、まず第一歩ではないかというお話だと思います。

いろいろなツールがあるとは思いますが、まずは市の広報からではないかなと思います。学校はいろいろな団体との関わりが多いと思いますが、いかがですか。

委員A : このつながりを大事にしていこうということですが、新たに作るのはこの時代には大変ですので、団体が集まっている各地域にちょっとお手伝いに行くとか、共催としてチラシに入れてもらったりする。それは学校も地域もかなり配布されますので、そのように協力しながら、社会教育委員の会議をアピールしていくのがいいかなと思いました。

議長 : 今、皆さんのお話を聞いて思うのは、新たに私たちが何か大きな団体を作っていくというのはとても難しいことでもありますし、私たち自身もどんな団体があって、どんな活動をしているかということを知ることでも必要です。また私たちの活動やまとめたものを知っていただくということも一方では必要ではないかと思います。

委員A : 何かしら事業を展開していて、その事業に共催という形で一緒に協力しながら、そして私たちの活動も知っていただき、お互いに情報交換しながらという形は、すごく理にかなっていると思います。

議長 : 私たち社会教育の委員として活動していますから、この教育委員会の中にある部署や学校に関わる場所、それ以外の福祉や子どもの分野など外せない分野の主だった団体なども整理したほうがいいのではないかと思います。

あまり時機を逸しないで、まずは基本路線の教育委員会からと思うのです。

副議長 : この社会教育委員の役割は、周りの社会教育の実情を知り、市民の皆さんの声を教育委員会に届ける役割と思うので、お手伝いや調査を兼ねた部分参加ができればいいかもしれない。

議長 : 連合体的な団体からまず押さえていき、個々の団体の意見がいずれ社会教育委員に届くという仕組みが出来れば理想的だと思うのです。

副議長がいわれたように、こちらから発信できるツールがあれば発信したい。あと、私たちが団体等に出向いていくことになるかなと思うのです。

副議長 : ほかの団体とつながるといふのは、やったほうがいいとは思っています。社会教育委員の会議と公民館で出した答申が2つあるので、その中で重なっている部分もあるので、話し合うことで膨らんでくるなと思います。

議長 : 国分寺市の公民館は、各館に運営サポート会議というのがありますが、公運審は5館

のサポート会議の委員さんも含めて、市全体の公民館活動を支えてバックアップしていくために何が必要かという話をしているところだと思うのです。そういうところで、私たちの活動を知っていただく。サポート会議に行って、社会教育委員の会議のお話をさせていただくのもいいと思います。

副議長：公運審の委員とは答申を踏まえて、答申をどうしますとか、そういうところで議論できたらいいかなと思います。

公民館課長：公運審のメンバーの中に、その各公民館のサポート委員が代表で一人ずつ入っていて、さらにサポート委員の会議の中では、各公民館の事業の報告や意見を伺う場もありますが、委員の皆さんと共有するのは、すぐ実現していくというところで効果的かなと思います。

議長：団体の整理という部分においては、事務局にお願いしたいと思います。

委員A：話は戻りますが、市報には、会議もですがリーフレットができたという記事載せることはできますか。

事務局：恐らく可能だと思いますが、市報だと載せる記事も多く制約がありますので、市報より教育委員会の広報誌のほうが載せられると思います。

議長：教育広報誌は、今回は11月発行予定ですが、掲載できれば、市民の方たちに少しずつ周知できると思います。本当は今回の7月に載せるのがよかったです。

委員A：この広報誌はどう配布されていますか。

事務局：学校の児童・生徒に配っているのと、各関係団体にも配っています。

副議長：T w i t t e rでもお知らせしてほしい。

議長：T w i t t e rの運用はどうですか。

事務局：課のT w i t t e rは更新が遅れていて、昨年度は全然やっていなかったかなと思います。これから対応できるようにしたいと思います。

副議長：団体を整理する云々ほどのぐらいの期間をかけてやるかというところで関わるかなと思っています。公運審とかオフィシャルな意見交換を今年度中にやりたいです。幾つかの団体は行きたいですね。リスト化して1年が終わるというのもちょっと寂しい。

議長：次回までにはある程度リスト化をするぐらいでいいですか。この会議は今日で3回ですが、9月ぐらいに1回会議ができれば、その間に事務局とリストを作成した上で、あと公運審や図書館運営協議会などとの調整、あるいはサポート会議に行かせていただけると確認したいですね。確か公運審は今期改選でしたよね。

公民館課長：そうです。7月の第1回で新しい委員でスタートします。

議長：9月に会議ができればと思いますが。では一応9月15日の午前中に次の会議をさせていただくこととします。この間に事務局を中心に、私も一緒に入って、リストの整理をさせていただいて、提示できるようにしたいと思います。あと公民館や図書館との調整も併せて進めたいと思います。

せっかく出した答申ですから、大事にそれを基に活動を広げていけたらいいのかなと思うのです。今年はそういう関係団体に、まずは出向いていきたい。

副議長：公運審の日程はいかがですか。

公民館課長：公運審は議会月を外して、それ以外の月で年8回開催しています。2時から4時前

の時間で開催しています。

議長 : 私たちは任意参加で行くしかないかなと思います。そうすると9月以降は年明け2回の開催となるかと。

副議長 : 団体の会議がいつあるかにもよりますね。

議長 : その団体に私たちが出向いて、お話をさせていただく機会を持てるにしても、1回、2回会議に出ただけでできることではなくて、やはりある程度継続することも考えていかなないと難しいと思います。ですから、まずはきっかけがどのようにできてきたかという辺りを委員で共有していく流れでいいのではないかなと思います。

年間スケジュールとしては、今年はいろいろな団体に私たちのことを知っていただき、また私たちも出向いていく年にするぐらいの緩さ加減でもいいかなと思いますが、いかがでしょうか。

委員B : かなり積極的だと思います。

議長 : そのように進めていくのでよろしいですか。

リーフレットは庁内印刷ですよね。配布できる枚数が多ければ多いほどいいですが、予算的には大丈夫ですか。

事務局 : 予算を確認しながら、増刷したいと思います。

議長 : 次の「その他」に入らせていただきます。事務局から説明をお願いします。

事務局 : 資料ナンバー5になります。「社教情報」の購入についてですが、購入希望の方は事務局まで御連絡ください。

副議長 : このような社会教育関係の冊子に手間がかかりますが記事を提供することもできるかもしれません。国分寺市の社会教育委員の会議としてこういうのを出しましたよとか。

議長 : 全国社会教育委員連合に確認するとか、何かPRできればいいですね。

事務局 : 確認したいと思います。

議長 : それでは、これで会を閉めたいと思います。ありがとうございました。